

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/27(月)</p> <h2 style="text-align: center;">雅歌8章</h2> <p>1週間みんなで読んできた雅歌も、もう今日で終わり。みんなは雅歌からどんなことに気付かされたかな？何を受け取ったかな？</p> <p>「私の愛する方よ、急いでください(14)」 神様は、毎日、「我が愛する者、私の美しい人よ。さあ立って、出ておいで(10)」と私達を招いている。神様は、私達の声を聞きたい！と心から思っておられるよ。最近の生活の中で楽しかったこと、悩んでいること、悲しかったこと、うまくいかないこと、何でも良いので、神様に話してみよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/28(火)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇123-124篇</h2> <p>124編を読んで気付いたことを書いてみよう。 1) 「主が味方でなかつたら」どうなると書いてあるかな？(2-5) 2) 逆に味方だったらどうなるかな？(6-8) 3) 神様が味方だってわかったら力が湧いてくるよね。僕は、普通の生活でいろいろな課題や困難に向き合うときがあるけど、今きみは神様についてどんな風を感じているかな。自分の気持ちをノートしておこう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/29(水)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇125篇</h2> <p>「主に信頼する人々は…揺るぐことなく とこしえにながらえる」(1) 現在、戦争、災害、感染症などが続き、今まで当たり前だったことが覆されていくような現実がある。そのような中であっても、永遠に変わらないお方こそ、私たちは信頼すべきである。主は、ご自身に信頼する主の民を囲ってくださり、恵を与えてくださっている(32:10)。私たちの周りには、主への信頼を失わせようとする敵も存在しているが、主なる神が恵みを持って囲んでいてくださることを今日も覚えたい。 主に信頼するということは、私にとってどのようなことだろうか？</p>
<p style="text-align: right;">2022/6/30(木)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇126篇</h2> <p>シオンとはエルサレムのことを指すが、詩篇では特に礼拝の場を意味する。それゆえ1vのシオンの復興とは礼拝の場の回復を意味する。捕囚からの帰還による礼拝の場の回復の喜びの歌だと思われる。</p> <p>私たちは礼拝と考えると、日曜に教会に集まる礼拝を一番に思いつくのではないだろうか？そこに喜んで参加しているだろうか？ 今は礼拝はどこでもささげられるものではあるが、集まってささげられる礼拝は本来貴重なものである。ただ、当たり前、日常になりすぎてはいないだろうか？ 改めて集まってささげられる礼拝について考えてみよう。 神様に感謝して、今日も神様と共に歩もう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/1(金)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇127篇</h2> <p>目の前のことを頑張り、どんなにテストで良い点数をとっても、どんなにスポーツが上手くなっても、どんなにきれいな絵をかけても、どんなに素敵な恋人がいても、そこに主がいなければ"むなし"。もちろん、目の前のことを頑張ることが悪いのではない。しかし、神様の祝福なくしては、苦勞してもむなしのである。</p> <p>人を富ませるのは主の祝福。人の苦勞は何も増し加えない。 箴言10:22</p> <p>多分、あなたは毎日を懸命に生きているはずだ。よく頑張っている。その生活の中に神様をお迎えしたい。主に信頼して歩みたいと、祈りたい。あなたに神様の祝福が豊かに注がれますように。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/2(土)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇128篇</h2> <p>「主を恐れる人は祝福を受ける」これは、神様が聖書を通して私たちに語っている真理だね。だけどどのようにしてそれがなるか、はっきり形が決まっているわけではない。でも、必ず「主を恐れる人は祝福を受ける」。それは神様が、ロボットや機械のようではなく今も生きている方で、そして真実なお方だからなんだ。</p> <p>今日の箇所では、手で苦勞して作ったものを食べるのは、幸いであり恵みであるとも書いてあるね。パッと見て当たり前に見えることも、神様からの恵みなんだ。</p> <p>今日私たちに神様が与えてくださっているものはなんだろう？そして、神様を恐れるってことはどんなことかも考えてみよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/3(日)</p> <h2 style="text-align: center;">詩篇129篇</h2> <p>この古の信仰者には、若いときから彼をひどく苦しめてきた「悪しき者」がいた。しかし彼は、神様が正しい方であり、彼らの綱を断ち切ってくださったので、彼らは私に勝てなかったと告白している。</p> <p>この信仰者は礼拝の場を憎む者に対して、心穏やかではないね。そのような者に対して「屋根の草のようになれ」と強い批判のことばを浴びせる。そして、神様の祝福がそのような人にないようにと、強く願うんだ。</p> <p>今日の箇所の信仰者と比べて私たちの信仰は、うわべだけのきれい事に終わっていないだろうか。罪人でしかない私たちをあわれんで、ただ恵みにより、神様の前に正しいとみなされるという、神様からの救いを今日も感謝して御前に歩む者として今日も過ごそう。</p>